

## 鉄鋼・精錬工場での環境対策に貢献

### 背景

環境省が定めるばい煙の排出規制において、事業者はその事業活動に伴うばい煙の大気中への排出の状況を把握・記録するとともに、当該排出を抑制する必要な処置を講じなければならないとされています。対象となるばい煙発生施設の一つとされる金属精錬施設※から排出されるばい煙には、原材料に由来する重金属元素等の有害物質が含まれます。効果的な対策をするため、排出された有害物質と工場設備の稼働状況の関連性を見ていく必要があります。

※ 一定規模以上

### HORIBAのソリューション

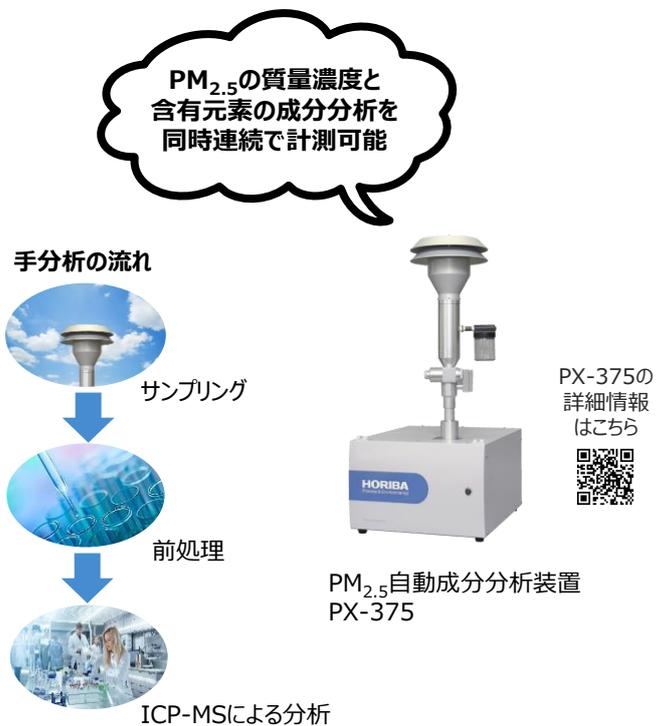
- ・リアルタイム（最短30分）で分析可能！
- ・連続計測により、経時変化を分析可能！
- ・排出対策後のスピーディーな効果検証が可能！

#### PM<sub>2.5</sub>自動成分分析装置「PX-375」の特長

- ▶現場で微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)の自動計測（サンプリングから分析データ取得まで）ができます。従来計測法の前処理や分析ノウハウは不要。
- ▶同一サンプルに対し質量濃度と金属元素濃度を同時に連続計測できます（最短30分毎）。
- ▶裏写りの少ない独自フィルタにより、自動計測後の手分析も可能です。

#### 従来の金属元素分析（手分析）方法

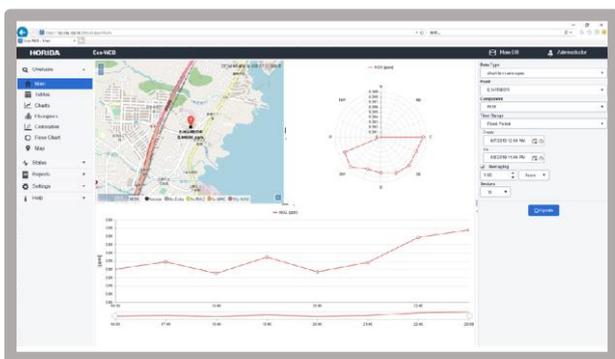
- ▶エキスパートが分析するため、費用が高額になることがあります。
- ▶サンプリングから分析データ取得まで2週間程かかるため、発生源解析や対策効果の検証に即応できないことがあります。
- ▶サンプリング手法によっては毎時のトレンドをつかむのが困難です。
- ▶サンプル輸送中の組成変化などにより、分析結果に影響が出る可能性があります。



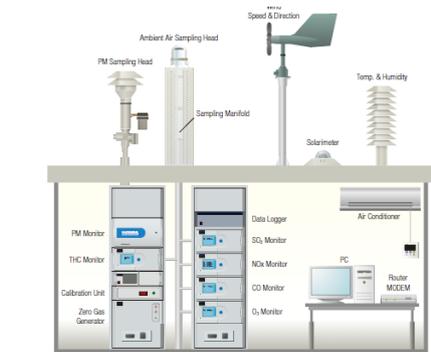
### 運用サポート

「Eco-WEB」を使用することで、遠隔地からの計測データ収集、管理、可視化・レポート作成まで行うことが可能です。

常時監視局での使用だけでなく、常時監視を補完する移動監視局にもPX-375は対応しています。



データマネジメントシステム「Eco-WEB」



大気汚染常時監視局※（AQMS）



大気汚染常時監視局※  
設置例



移動監視局